

Program

プログラム

- 13:00 主催者挨拶 札幌学院大学学長 鶴丸俊明
- 13:05 趣旨説明 臼杵 勲(札幌学院大学 人文学部 教授)
- 13:10 基調講演  
**「北海道の旧石器文化」**  
 佐藤宏之(東京大学大学院 人文社会系研究科 教授)
- 14:30 報告1  
**「置戸町黒曜石原産地における  
 札幌学院大学の調査」**  
 大塚宜明(札幌学院大学 人文学部 講師)
- 15:00 休憩(10分)
- 15:10 報告2  
**「上ノ国町における文化遺産の  
 保存と活用」**  
 塚田直哉(上ノ国町教育委員会 学芸員)
- 15:40 報告3  
**「観光立国・地方創生に向けた  
 文化財VRの取り組み」**  
 浅野正樹  
 (凸版印刷株式会社情報コミュニケーション事業本部  
 先端表現技術開発本部VRビジネス開発部 部長)
- 16:30 討論  
**「地域振興における文化遺産の活用」**  
 参加者



# 地域振興と文化遺産

地方活性化を進めるための資源の一つとして、各地に保存されてきた文化遺産が注目されている。現政権の施政方針の中に文化財の積極的活用もうたわれ、「日本遺産」や文化財保護法改正などの具体的な政策も打ち出されている。

本学では、地域連携の取り組みの一つとして、置戸町において旧石器時代遺跡の調査を進めてきた。これらの成果とその意義を紹介するとともに、文化遺産を取り巻く新たな状況の中で、地域社会はどのように文化遺産を活用し、大学はそれとどのように関わっていくのかを考える。



日時

2018年 11月10日 土

13:00~17:00

場所

札幌学院大学 B101教室

〒069-8555 江別市文京台11番地

主催：札幌学院大学総合研究所 共催：北海道考古学会 道民カレッジ連携講座

●お問合せ



札幌学院大学 総合研究所

江別市文京台11(JR大塚駅徒歩10分)  
 【問い合わせ先】図書課(研究支援係)  
 TEL:011-386-8111(代) FAX:011-388-2057(図書課)

入場無料・事前申し込み不要

当日直接会場までお越しください。  
 駐車場の利用もできます。

総合研究所シンポジウム 講師プロフィール

## 佐藤 宏之 【 さとう ひろゆき 】

東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室・教授。日本旧石器学会・前会長(2014, 6-2018, 6)、アジア旧石器協会副会長。日本およびアジアの旧石器時代研究と、現生狩猟採集民の狩猟行動に関する民族考古学研究が専門。主要著書：『日本旧石器文化の構造と進化』柏書房、『北方狩猟民の民族考古学』北海道出版企画センター、『ロシア狩猟文化誌』慶友社(編著)、『ロシア極東の民族考古学』六一書房(編著)、『ゼミナール旧石器考古学』同成社等。



## 大塚 宜明 【 おおつか よしあき 】

1982年茨城県に生まれる。2006年明治大学文学部卒業、2016年明治大学大学院文学研究科博士課程修了 博士(史学)。現在は札幌学院大学人文学部講師、専門は日本列島における先史時代の考古学。主な著書『日本列島におけるナイフ形石器文化の成生—現生人類の移住と定着—』北海道大学出版会、2017年

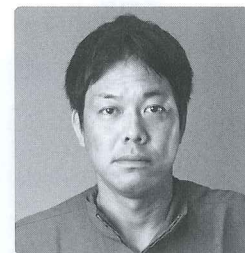


## 塚田 直哉 【 つかだ なおや 】

上ノ国町教育委員会文化財グループ学芸員。富山大学で考古学を学ぶ。青森県教育委員会を経て、平成15年より上ノ国町教育委員会勤務。学芸員として、中世遺跡を中心とした文化財保護活用に取り組む。

主要論文

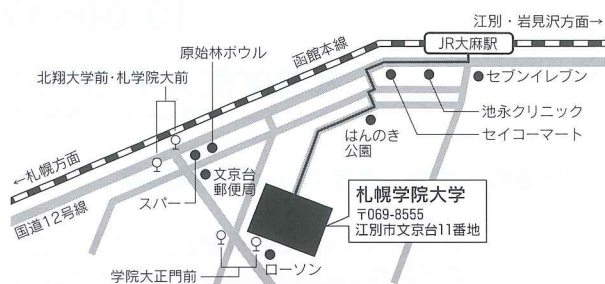
- 「出土遺物から見た環壕集落の様相。一唐川城跡と高屋敷館遺跡の比較から」
- 『津軽唐川城跡—古代環壕集落の調査—』富山大学考古学研究报告第7冊 2002
- 「北海道考古学の回顧と展望 中世・近世」『北海道考古学』第50輯 2014
- 「北海道日本海沿岸の14～15世紀における流通拠点の変遷とその背景」
- 『中近世陶磁器の考古学』第三巻、雄山閣 2016 等



## 浅野 正樹 【 あさの まさき 】

1991年凸版印刷株式会社入社、2004年より、デジタルアーカイブ事業開発業務担当、2018年1月より現職。文化財の観光資源化とデジタルアーカイブ業務に取り組む。VR技術の活用などに成果多数。

「ストリートミュージアム」<http://www.streetmuseum.jp/>



JRを利用した場合	札幌駅(江別、岩見沢、滝川、旭川方面行き)発 ▶大麻駅下車	快速約12分+徒歩10分
	札幌バスターミナル(JRバス・夕鉄バス)発 ▶学院大正門前、または北翔大学前：札幌学院大前下車	乗車約10分+徒歩1～3分